

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡地域おこし協力隊による活動報告コラム

小郡で食べる

資産の農作物を多くの消費者へ

諸岡 佳紀(もろおか よしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。

日々の活動を配信中!

Facebook 小郡市地域おこし協力隊

Instagram moromoro82

Twitter nougyou_ogori82



ついに「おごおり農産かるた」が完成しました。【あ】〜【を】の絵札&読札全てが小郡の「農」にまつわる内容です。市内の保育所やコミュニティセンターなど35か所に寄贈しました。ぜひ皆さんもかるたで遊びながら地元の農作物や農業風習を学び、このまちの魅力を再発見してくださいね。

3月末、かるたの完成を記念して、かるたで紹介した農家さんを招いてかるた会を開催しました。ユニークな野菜を育てる山下さん、音楽家兼マンゴー農家の緒方さんなど15人で大いに盛り上がりました。

司会の私が、「らいぶちゅう・まんごーはうすに・ちゅーばのね」と札を読むと、「あった!」と会場

完成記念のかるた会!
農家さんからのねぎらいの言葉に感激

に弾んだ声が響きました。ここではなんとこの札を取ったのは、札の写真に載っている緒方さんでした。「この札は誰にも譲れないよ」といつこり笑顔。札を読み上げながら、目頭が熱くなりました。

地域おこし協力隊に採用されてから3年。「地域おこし」というミッションに向けて、最初は手探りで頭を悩ませ、それでも諦めず地道に人脈をつくり、今日という日を迎えました。かるた会に参加してくれた農家の男性が「お疲れさま。君が来て小郡が元気になった気がするよ」と肩を叩き一言。何ものにも代えがたい言葉をいただきました。


7月末に協力隊を卒業し、小郡市で農業を営みます。今まで本当にありがとうございました。



▲【ら】の札


地域おこし協力隊の日々の活動記録。Ogostagram

News




農業振興課で「おごおり農産かるた」の無料レンタルを始めました。レンタル期間は1週間です。パーティーやお祭りなどで盛り上がりましょう。

News



「おごおり農産かるた」が大牟田市の三池カルタ・歴史資料館で展示されることになりました。全国のご当地かるたに負けず存在感を出せればと思っています。

Report




「おごおり農産かるた」を使用し、かるた遊び(30分)+各札の解説(30分)の出前講座を協力隊が7月末まで行っています。気軽にオフアーください。

Report



おごおり地産マップ⇒おごおり農産かるた⇒次は、小郡の直売所や農園・田園などを60マスで巡る「おごおり〈農〉すごろく」を制作中。6月末に完成予定です。お楽しみに♪

Report



市民団体Fromおごおりが「おごおり農業図鑑」というカレンダーを制作。市内でつくられる農作物の収穫時期が一目で分かります。

Event



定期開催しているマルシェ「てんとテンつながるマーケット」。出店者やボランティアスタッフを募集中。問合せは横山実行委員長まで(☎090-3882-0035)。